

対 象 学 年			
小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	全学年

ドングリクラフト



プログラムの概要

秋の森は、木の実などがたくさん実り、鳥やけものたちのエサとなって命を支えています。自然の家の森には、主にミズナラやコナラなどのナラの木が多く茂り、これらの実はドングリとよばれて、人々に親しまれています。このプログラムは、森に入ってドングリや木の枝を拾い集めて、ドングリに竹ひごをさしたり、絵の具で色を塗ったりしておもちゃを作ります。また、さらに拾い集めた木の枝を組み合わせておもちゃの飾り台を作って楽しむ活動です。

所要時間：3～4時間

独立行政法人 国立少年自然の家
国立妙高少年自然の家

ドングリクラフト

1 活動のねらい

- ・整備された雑木林（ナラ林）の中に素晴らしい自然があることに気づく。
- ・自然との一体感をとおして、自然のすばらしさや活動の楽しさを味わう。
- ・ドングリを使って自分だけのおもちゃづくりに挑戦し、自然のおもちゃづくりの楽しさを共有し、達成感を味わう。

2 活動のフィールド

- ・ナラの木広場、アリの巣広場、第2ナラの木広場、クラフトルーム
- ・何人でも可能

3 準備品

団体または個人で用意するもの：軍手、ようじ、竹ひご、紙ヤスリ、ボンド、マジックかサインペン、
10cm四方に切ったベニヤ板か太めの枝を輪切りにした板（食堂でもネームタ
ックセットとして販売しています。）

自然の家で貸し出すもの：カッターナイフか剪定ばさみ、のこぎり、工作台、きり

4 活動の手順

（1）事前学習

- ・ドングリでどんなおもちゃを作ることができるか話し合う。
- ・ドングリのおもちゃで遊ぶ方法を話し合う。

（2）活動の手順

<ドングリのコマづくり>

- ①自然の家の森の中を歩いて、中身のつまったドングリを拾い集めます。一人5個～10個ぐらいでよいです。
たくさん落ちていても他の人や野生の動物のために残しておきましょう。
- ②ドングリのぼうしを取り、ようじをぼうしのあった部分の真ん中にまっすぐに刺します。これがコマの柄の部分になります。ドングリが堅いときは、きりで穴をあけてから刺してください。
- ③はさみで、コマの柄の長さを手で回しやすい長さに切るとコマの完成です。
マジックやサインペンでコマに模様をつけてみましょう。
- ④柄の部分を手親指と人差し指で勢いよくひねってコマを回します。
- ⑤一斉に回して、どのコマが一番長く回っているか競ったり、コマが回っているときの模様を比べたりしましょう。



ドングリのコマを作っているところ



ドングリのコマで遊ぶ

< ドングリの “やじろべえ” >

- ① 自然の家の森の中を歩いて、中身のつまったドングリを拾い集めます。一人20個ぐらい集めましょう。たくさん落ちていても他の人や野生の動物のために残しておきます。
- ② 1つのドングリのぼうしを取り、ぼうしのあった部分の真ん中にようじを刺します。
- ③ 先をとがらせた竹ひご（長さ10～15cm）を2本用意します。
- ④ ようじを刺したドングリの横の部分に、長さが同じ竹ひごを2本斜めに刺します。
- ⑤ 竹ひごの先端を別のドングリに刺します。これで“やじろべえ”の完成です。
- ⑥ 次に“やじろべえ”のをせる台を作ります。拾ってきた枝の先をのこぎりで切ります。そのとき切り口が水平になるように切ってください。
- ⑦ 枝の底部分を太い枝の輪切りなどにボンドで貼りつけます。



ドングリのやじろべえと台

< ドングリのミニ人形 >

- ① 自然の家の森の中を歩いて、ドングリを拾い集めます。一人5個～10個ぐらい集めましょう。たくさん落ちていても他の人や野生の動物のために残しておきます。
- ② ドングリに絵の具やマジックで人形の顔を描きます。
- ③ その人形をベニヤ板が輪切りにした枝にボンドで貼りつけます。



ドングリの人形

< 後かたづけ >

- ① あまったドングリは森に返しましょう。
- ② 切ってあまった枝や枝の切れ端も森に返しましょう。

ふりかえりの活動（次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう）

- ・ 森の中に入ってドングリを探してみて、気づいたり感じたりしたことはありますか。
- ・ 完成したおもちゃで遊んでみてどう思いましたか。
- ・ 森はあなたにとってどんなものだと思いますか？

5 活動のまとめ

- ・ 豊かな森の恵みには、季節によりどのようなものがあるか話し合しましょう。
- ・ 恵み豊かな森を維持するために私たちがすべきことはどんなことが話し合しましょう。

6 活動上の留意点

- (1) 刃物の扱いに十分注意するよう事前に確認し合うとともに、完成した時点ですべて回収してください。
- (2) 森の中での活動でいちばん心配されるのは、ヤマウルシによるかぶれです。事前にヤマウルシそのものを示して、注意を促してください。

その他の作品例



ドングリのネームタック、バッジ、ミニリース



ドングリと松かさ・石を組み合わせた作品

7 参考文献 いわさ ゆうこ、大滝 玲子 著 「どんぐりノート」文化出版局

ねらい別活動プログラム集「ドングリクラフト」

発行日：平成18年2月28日

発 行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編 集：濁川明男（上越教育大学教授）

執 筆：細矢武男（国立妙高自然の家主任専門職員）